

出演：常本琢招
(映画監督)



絵：広瀬寛巳

広瀬寛巳
(ネオ書房店員・妖精)



常本琢招 特集上映プレイベント① 映画の妖精

ヒロポンのシネトーク

SNSなどで、映画に関する言葉が垂れ流しのようになり、**本当の「映画についての言葉」とは？**

淀川長治氏が亡くなり、おすぎ氏が一線を退いた今、彼らに匹敵する映画の語り部は、蓮實重彦、山田宏一、上野昂志氏の世代で終わりか？…いやそうではない。

その圧倒的な喋りを目の当たりにした西山洋市監督に「**シネマの記憶装置とは、この人のことですか？**」と言わしめた、皆さん大好き「**映画の妖精**」**広瀬寛巳氏**がいる。

伝説と化した小劇場「渋谷ジャン・ジャン」の人気企画「おすぎのシネマトーク」のように、シンプルな舞台上、広瀬氏と常本の二人が70年代から、広瀬氏が故郷・三重で、常本が故郷・仙台で、そして上京して以降も観てきた映画をひたすら語り合うだけの、**お客様置き去りの可能性もあるハードコアなイベント**です。

キャリアだけは長いが寡作の監督・常本琢招が、
久々に上映会を開催。そのプレイベントであります。

上映情報 「ツネモト×4人のヒロイン」

5月22・31日 6月12日 会場：Stranger (墨田区菊川)

2025年5月4日 [日]



開場 14:30 予約1,000円/当日1,500円
開演 15:00 +1ドリンク制500円 (定員40名)

ネオ書房企画/ブックカフェ二十世紀

東京都千代田区神田神保町2-5-4 ワンダービル2階
(地下鉄神保町駅 A1 出口、右手にまっすぐ 30秒)

●ご予約・お問い合わせは、kirira@nifty.com

(ご予約の場合は、イベント名・お名前・人数・連絡先を明記)

